

IV 学校経営マネジメントプラン

桐生市立北小学校

【学校経営の基盤】

- ◇ 児童・保護者・地域の実態
- ◇ 教師の思いや願い
- ◇ 全国学力・学習状況調査の結果
- ◇ CRT検査の結果
- ◇ 新体力テストの結果
- ◇ 教育課程評価の結果
- ◇ 学校評価の結果
- ◇ 学校経営評価の結果

- 『学力向上計画』
- 『体力向上プラン』
- 『いじめ防止基本方針』
- 『いじめ防止に関する年間計画』
- 『服務規律行動計画』
- 『危機管理マニュアル』
- 『個人情報申し合わせ事項』
- 『指導要録の適正な管理に関する規定』

学校評議員会
(学校関係者評価の結果)

北小のよいこの合い言葉
よ よいことどんどん
い いのちをたいせつに
こ ころをたいせつに

< 学校教育目標 >

< 基本目標 >

確かな学力を身に付け、
豊かな心をもった、
心身ともに健康な児童を育成する。

< 具体目標 = 目指す児童像 >

- ◎ 進んで考え 学び合う子
- ◎ きまりを守り 誰にでもやさしい子
- ◎ 心身ともに健康で 明るい子
- ◎ 目標に向かって 粘り強く努力できる子
- ◎ ふるさと桐生を 愛する子

- ◆ 日本国憲法
- ◆ 教育基本法
- ◆ 学校教育法
- ◆ 小学校学習指導要領
- ◆ 学校教育の指針（県教委）
- ◆ はばたく群馬の指導プランⅡ（県教委）
- ◆ 指導の重点（東部教育事務所）
- ◆ 教育大綱・教育行政方針（市教委）
- ◆ 授業改善推進プラン（市教委）
- ◆ KIRYU GIGAスクールPROJECT（市教委）
- ◆ 提言R5～子どもたちに豊かな学びを届けるために～
- ◆ コロナウイルス2019等感染症対策

教育課程の編成方針

- 1 教育課程編成の基本方針
- 2 全体計画等作成の基本方針
- 3 指導計画作成の基本方針

- ・ 出会いを大切に得意分野を活かし合い「和顔愛語」で良好な人間関係作りに努める教職員
- ・ OJTを推進し、指導力の向上と技術伝授・業務改善に努め、服務規律を徹底する教職員
- ・ やりがいと誇りをもち「チーム北小」の一員として愛情をもって全児童を育む教職員
- ・ 危機管理意識をもち、「最悪を想定して、最善を尽くす」ことのできる教職員

【学校経営の方針】

教育目標の具現化にむけ「チーム北小」で協働し「信頼される学校」を目指す

※ ■数字 = 「今年度の努力点」

1 確かな学力の向上	
(1)	<p>【「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくり】 主体的に学び、深め合うことのできる児童を育成するために、めあての提示と振り返りのある単位時間を設定するとともに、学びを広げたり深めたりできるような交流活動を大切に授業づくりを工夫する。</p>
(2)	<p>【ICT機器を積極的に活用した授業づくり】 各教科・領域における育みたい資質・能力を育成するために、ICT機器を積極的に活用して、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図った授業づくりを工夫する。</p>
(3)	<p>【学習態度の育成・学習習慣の確立】 望ましい学習態度や学習習慣を全学年共通で身に付けさせるために、『北小学習10のルール』および『北小家庭学習の手引き』の指導の徹底を図る。</p>
(4)	<p>【学校図書館の利用・読書習慣の定着】 ＜生きる力＞育成の促進要因となり、読解力の向上にも結び付く児童の読書習慣を定着させるために、読書指導の充実を図る。</p>

2 豊かな心の育成	
(1)	<p>【自ら進んであいさつ・適切な言葉遣い】 より良い人間関係をつくり、望ましいコミュニケーション能力を身に付けさせるために、自ら進んであいさつをすることや時と場合に応じた適切な言葉遣いや行動ができるようにすることの指導を徹底する。</p>
(2)	<p>【いじめの未然防止】 学級経営・教科経営・道徳・人権教育の充実を図り、いじめを未然に防止するために、相手が嫌な気持ちにならないように、いつも気を付けて、話したり行動したりすることの指導を徹底する。</p>

3 キャリア教育の推進	
(1)	<p>【夢や希望をもつ児童の育成】 児童が将来の夢や希望について考えられるように、各教科・領域の授業と関連付けたキャリアパスポートの活用などを進め、キャリア教育を推進する。</p>

4 心身ともに健康な体の育成	
(1)	<p>【基本的な生活習慣の確立】 基本的な生活習慣を確立するために、早寝・早起き・朝ご飯を実践できるように指導を徹底する。</p>
(2)	<p>【運動遊びの励行による体力向上】 バランスのとれた行動体力を培うために、登校後・25分休み・昼休み・放課後に、1日1回は運動遊びを行うように指導を徹底する。</p>
(3)	<p>【むし歯の即時治療完了】 防衛体力の基礎を養うために、むし歯の即時治療完了についての指導を徹底する。</p>
(4)	<p>【メディア依存の防止】 ＜生きる力＞育成の阻害要因となる子どものメディア依存を未然に防止するために、『北小 スマートフォン、ゲーム機等の利用の約束』に基づくルール作りに学校と家庭で連携して取り組む。</p>

5 特別支援教育の充実

☆	【① 個に応じたきめ細かな支援態勢】 特別支援学級及び通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童のために、個に応じたきめ細かな支援(学習支援、適応支援)態勢や交流活動・ユニバーサルデザインを工夫する。
☆	【② 校内支援小委員会】 判定にかかわらず、特別な支援を必要とする児童への見立てや支援方針・方法を特別支援コーディネーターを中心に、担任・SCや教育相談員・関係機関と連携して検討し、共通理解するために、校内支援小委員会を必要に応じて随時開催する。

6 学校運営への参画

☆	【① 学校課題の解決に向けた取組】 学校課題を解決するための実践を通して学校運営への参画を図るために、『学校経営マネジメントプラン』『学校経営方針』等を踏まえた学級・教科・分掌経営方針をなるよう意識し、業務改善や効率化の視点を盛り込んだ『自己申告書』を作成する。
☆	【② 「報告・連絡・相談」「時系列の記録」と丁寧な対応】 危機管理意識と危機管理能力の向上のために、児童の怪我、いじめ、問題行動、不登校、保護者からの相談等に関わる管理職への「報告(経過報告、最終報告)・連絡・相談」と「時系列の記録」を徹底し誠実で丁寧な対応を行う。

7 教職員の職能成長

☆	【① 指導力の向上に向けた取組】 校内研修「授業改善研修」「資質向上研修」を通して、指導力向上を図るために、協議への積極的な参加と『校内研修計画書』に基づいた実践推進に努める。
☆	【② 組織力・同僚性の向上に向けた取組】 「チーム北小」の一員として、学校の“組織力”と教職員の“同僚性”を高めるために、「報告・連絡・相談」、「連携・協力・協働」「OJTの推進」「業務改善」を常に意識して仕事を進めるように努めることを徹底し、誠実で丁寧な対応を行う。

8 保護者・地域・関係団体との連携

☆	【① 保護者への情報提供・保護者との連携】 学校や子どもの様子を情報共有し、保護者と緊密に連携するために、各種便り、連絡帳、電話連絡、授業参観、懇談会等の積極的な活用に努める。
☆	【② 外部指導者の活用】 学校の教育活動の充実を図るために、授業等で、真に必要とされるスクールサポートボランティアなどの外部指導者の積極的な活用に努める。

9 安全管理の徹底・安全教育の充実

☆	【① 危険箇所の迅速な修理・修繕】 安全な学校環境を維持するために、危険箇所のある施設・設備の修理・修繕を迅速に完了する。
☆	【② 交通安全ルールへの指導】 徒歩や自転車による交通事故を未然防止するために、交通安全ルールの指導を徹底する。
☆	【③ 熱中症・感染症・自然災害・不審者等への対応】 児童の安全を第一に熱中症・感染症対策に取り組み、台風や降雪などの自然災害、不審者等が出没した際は<ふれあいメール>等を活用して、学校の対応方針を迅速に保護者に伝え、児童への適切な指導を徹底する。